

2024年10月号

arch-tsushin

Vol. 230

あーち通信



～あーち開所19周年記念～

ハロウィン工作セットプレゼント

あーちのスタッフが手作りした、紙皿を使った簡単な工作セットです。お家で楽しく作ってくださいね。

10月1日(火)からお配りします。数に限りがありますので、お早めどうぞ。



※工作セットのプレゼントは、お1人につき1つずつとさせていただきます。



えんじえる君II by Bon

証明写真②

口はとじる
真正面
向の
写真が
必要



パスポートを作る
目もあげく
黒目を見せる

いつもはこんな顔です



しかし、^②の友人
Yくんは
目が細くてあげにくい
口も閉じにくい

目も閉じる



口を一生けん命
閉じようとすると

なんで、じつもの顔は
こんなのかなあ(心多)



目もあげよう(と)
目もあげよう(と)
目もあげよう(と)

照事に旅行で使いた
いから



日本に帰る
先方国で
通用するの
どうかな?



これなら、
お願います!



絵本の世界へようこそ

「ろくべえ まってろよ」

作:灰谷 健次郎

絵:長 新太

文研出版 1975年8月発行



子どもたちが力を合わせて、深い穴に落ちた犬の「ろくべえ」を助けるお話です。今時では「飼い主はなにしてるの?」という感じですが、この絵本が発行された頃(年がばれそうですが、私の子ども時代)は、放し飼いの犬や、地域に住み着いている野良犬をたびたび見かけました。

子どもたちは知恵を絞って、ろくべえを励まし助けます。子どもらしいアイデアが面白く、最後はどうなるのかとハラハラしましたが、一件落着。一方、登場するおとなたちのダメさ加減に、おとなとしては、しばし反省させられました。作者の、子どもの力を信じる姿勢が伝わる絵本です。

(あーちスタッフ 山名)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

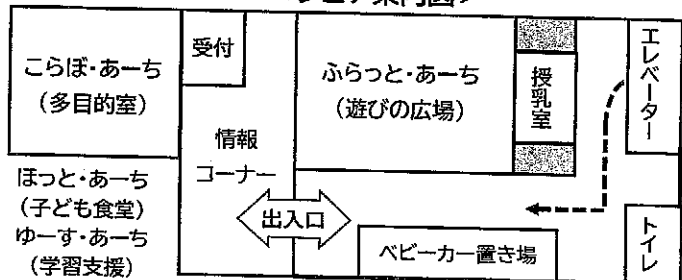
10月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち
1	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
2	水	月イチwith 10:30~12:00	
3	木		健康あーち(相談)午前中
4	金	よる・あーち 17:00~19:20	
5	土	プラレール広場 10:30~16:00	
6	日	休 館	
7	月		
8	火		
9	水		
10	木		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
11	金	よる・あーち 17:00~19:20	
12	土	おはなしの国 11:00~11:30	
13	日	休 館	
14	月		
15	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	
16	水		保健師さんとお話ししましょう 11:00~12:00
17	木		
18	金	よる・あーち 17:00~19:20	リフレッシュYOGA 10:45~11:45
19	土		あらかると音楽遊び 14:30~15:00
20	日	休 館	
21	月		
22	火		ふらっとリトミック 11:00~11:30
23	水		
24	木		
25	金	よる・あーち 17:00~19:20	
26	土	おもちゃ病院 13:00~15:30	
27	日	休 館	
28	月		
29	火		
30	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00 ※下記参照
31	木		

- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。
 また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、10:45ごろにご来館ください。
 ※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～
 水曜 午前 保健師・保育士
 水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師

お電話でも相談できます



<プログラムのご案内>

- ★あーち人形劇団「むー」…あーちに来ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび…手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国…ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院…ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)
※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★健康あーち(相談)…大学教員(公認心理師)が「ふらっと」でみなさんと交流します。日頃のモヤモヤする気持ちや健康にまつわることなど、ゆっくりお話ししましょう。
- ★月イチwith…参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょ
- ★パパママほっと…ASD(自閉症スペクトラム、アスペルガー)またはその傾向のあるお子さんの保護者の集いです。悩みを分かち合い、情報交換を行うピアカウンセリングの場です。
- ★ふらっと リトミック…リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場…広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ…赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★保健師さんとお話ししましょう…保健師が月1回、健康に関するお話しをします。個別のご相談もどうぞ。
- ★よる・あーち…「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。
- ★リフレッシュYOGA…肩こり・腰痛を軽くするポーズを中心にした、自宅でも簡単にできるYOGAです。

<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)
※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



日本語の授業で、2つの形容詞を使って文を作る練習をしていました。生徒さんが冗談半分に「ぼくは、強くて頭がいいです。」と言いました。彼は日本語の「頭がいい」は、英語に直訳すると、head is good になるのが面白いとって、英語にも a good head on shoulders. という言い方があるんです、と言いました。直訳すれば、『肩の上がいい頭がある』になりますが、これは「頭がいい」という意味。決断力、判断力、分別がある、という賢い人を指すそうです。頭の良さも様々ありますね。なので、例えば“My boss has a good head on his shoulders.”ならば、「上司は、頭がいいです。」になります。“Have/has a good head on one’s shoulder”って面白い表現でしたので、この度はこれをご紹介します。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

第42話「言葉の罪」

次男が学校で言葉の暴力によって辛い思いをしたときにミュージカル「レ・ミゼラブル」を思い出したのはなぜでしょう。

経済状況が厳しい19世紀フランスで、主人公バルジャンがたった1つのパンを盗んで19年も投獄されたところから始まるストーリー。ただカッコいいというだけで楽しめていたこの演目の見方が変わってしまったのは、次男の学校での出来事がきっかけ。

例えば、お金に困ってお腹を空かせた人がコンビニでパンを盗んだら、明らかに窃盗罪になります。パン1つの利益がどのくらいで、コンビニ店舗とパンメーカーと原材料業者と運送会社にどのくらいの不利益が生じるのかはわかりません。でも、製造や運搬過程で仕方なく廃棄する商品もあるはず。だったら1つくらい別にいいじゃん、と言いたくなるけど、きっと損害額の問題ではなく、1回でも見逃したら繰り返される、同じことが起こる、罰を受けるのは当たり前という考えから許すことはできないのだろうと想像しています。

じゃあ、子どもが、しかも我が子が、全く納得のできない理由で言葉の暴力で傷つけられたりしたら、加害者の罪をどのように理解したらいいの？イジメや暴力（言葉も含めて）がキッカケで、家以外の場所に強い不信感をもつようになって自信を失っちゃう事もあるだろうし、それは簡単に癒せる心の傷じゃない。何年もかかったりするし、人によっては一生の問題かもしれない。外の世界に歩みだし、色んな人と出会って、色んな体験を楽しむ機会を奪ったことにならないの？私にとってはパン1つ盗むことより、よっぽど罪が重いような気がします。

言葉の暴力が誰かの心を深く傷つけるのなら、または暴力じゃなくてもすれ違いの原因になるのなら、言葉なんてない方がいいんじゃない。私は過去にどれだけ言葉で「罪」を犯してきたんだろ

う。そんなふうに振り返るキッカケにもなりました。レ・ミゼラブルでは、登場人物たちが「神」に向かって自身の様々な「罪」を歌い上げていますが、私は、誰に、何に、自分の罪を語るべきなんだろう。誰に、「傷つけられました」と加害者を糾弾したらいいんだろう。このような行き場のない罪は収まり所がなくなって怒りへと変わり、また罪を繰り返す。世界には裁かれるべき罪がいっぱいあって、裁かれなくていい罪に溢れかえっているんじゃないかな。世間話みたいなことはペラペラと流暢に口から出てくるのに、罪にまつわる話をしようとする、喉の奥がギュっとなって言葉が出てこなくなっちゃう。無意識が「これ以上しゃべるな」ってストップかけてるみたい。もう、なんかホント疲れる…。

私に何かを言ってくれる人も、何かを言おうとしている私も、罪にまみれている。それでも人は言葉を使うから、罪以上の、何か優しくて、心を柔らかくするような言葉の送受信を諦める事はできない。言葉から逃げる事ができないんだ。きっと今日したように、明日以降も罪を犯し続けるんだろう。そんな事を思った時に、重度知的障害者の言葉を使えないというハンデがとても大切なものとして見えてきたのでした。

長男は話すことはできるけど、おそらく標準知能者よりも言葉による罪は犯していないと思います。反抗期でさえ、せいぜい母親である私に対して「あっちいけ」と言った程度。12年間の学校生活の様子を先生から聞いたところから察するに、彼が言葉の罪を犯した可能性はかなり低い。法律から離れたところにある私たちの日常にある、傷つけた、傷つけられたのストーリー。溢れかえる「言葉の罪」に捕われない稀有な人、それが長男。光をあててあげなくてはならないのではなく、彼こそが、罪を犯し続ける私に光を与えてくれる存在として、共に生きています。

